

用途ラベル：現在位置確認

「名前」で終わる静止

現状の確認

自己紹介で停止 / 肩書き未確定 / 説明が長くなる
相手が再質問 / 「何してる人？」発生



記憶に残らない / 立ち位置曖昧

存在は知られている。なのに、役割が伝わらない。

能力や実績の 問題ではない。

- 表現の曖昧さ
- 相手が「具体的な像」を想像不能
- 情報がぼやけている

停滞の核心

印象未形成 / 記憶残存失敗

脳内に保存するための「タグ」が不足している状態

「何でも屋」の罠

曖昧な表現

副業サポーター
SNSコンサル
才能を引き出す人

活動説明型

サポートします
お手伝いします
具体像不明

綺麗にまとめようとするほど、存在感は消えていく

一瞬で刺さる「一言」の設計

誰の悩み + どんな変化 + 何をサポート

一場面が想像できる具体的状況

〇〇の人

説明するのではなく、印象を一言で「置く」

視点を「自分」から「記憶」へ

肩書き＝職業名 → 肩書き＝印象一文

活動説明 → 場面提示

抽象表現 → 具体状況

情報羅列 → 記憶フック

今すぐ「一言」を削り出す

- 紙を一枚用意する
- 自分の過去の「悩み」を書き出す
- 誰かを助けた「経験」を書き出す
- 届けたい「相手」を定める
- 起きる「変化」を書き出す
- 全てを繋ぎ、一文にまとめる
- 「〇〇の人」として一言化する

立ち位置を固定する「羅針盤」

肩書き設計カード / 自己紹介確認

プロフィール確認 / 発信軸確認 / 言葉具体化

印象固定 / 名乗りを確定させる場所

用途ラベル：次の選択

「〇〇の人」で、名乗る。

ワークPDFを使用する

肩書きを書き出し、具体化する
プロフィールを即座に更新する

迷ったら再確認。一言が決まれば、一歩は軽い。